

2025 東海シンポジウム
～3D 空間を活用する高分子～

機能性高分子化合物の開発において、階層構造や高次構造の制御が機能性発現における重要な因子となっています。また、合成における空間反応場を制御することにより、新しいプロセスでの高分子合成が可能となっています。最近、重合場や高分子構造における 3D 空間を巧みに制御・利用することで、新しい高分子合成法や優れた機能を示す先導的な研究が報告されるようになってきました。今回のシンポジウムは、「3D 空間を活用する高分子」と題し、関連分野の第一線で活躍されている研究者の方々に講演をお願いしました。非常に充実した内容となっていますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

主催:高分子学会東海支部

協賛:日本化学会東海支部 東海化学工業会 有機合成化学協会東海支部 繊維学会東海支部

日本接着学会中部支部 日本分析学会中部支部 色材協会中部支部 化学工学会東海支部

プラスチック成形加工学会 日本レオロジー学会 日本繊維機械学会東海支部

日本油化学会東海支部 日本顕微鏡学会関西支部 応用物理学会東海支部

日時:2026 年 1 月 26 日(月)、1 月 27 日(火)

会場:ウインクあいち(<https://www.winc-aichi.jp>) 1302 会議室

プログラム:

1 日目 1 月 26 日(月)

<10:00-12:05>

はじめに (豊橋技科大)原口 直樹

1)3 次元空間制御によるコロイダルビルディングブロックからなるソフトマテリアルの構築 (名大)竹岡 敬和

2)三次元ナノ構造を制御した炭素材料 Graphene MesoSponge®の応用とスタートアップとしての事業化

(3DC)黒田拓馬

<13:25-15:25>

3)マイクロリアクター研究が導く高速イオン重合化学 (北大)永木 愛一郎

4)弾性不安定から予測されるマイクロ流路内の高分子の配向・変形および切断 (名大)日出間 るり

<15:40-16:40>

5)多孔質高分子固定化触媒を用いた連続流通プロセス (九州大)三浦 佳子

2 日目 1 月 27 日(火)

<10:00-12:00>

6)粒径を制御したポリアクリル酸粒子の合成とリチウムイオン電池部材への応用 (東亜合成)長谷川 剛史

7)高分子微粒子の構造制御と界面設計 (神戸大)南 秀人

<13:25-15:25>

8)ロタキサン構造を用いたポリマーの構造と特性制御 (科学大)中菌 和子

9)多成分系高分子材料の構造解析 (信州大)山本 勝宏

<15:40-16:40>

10)光重合を利用した配向高分子フィルムの一段階作製と機能化 (科学大)宍戸 厚

参加要領:

1)定員 100 名

2)参加費 ① 企業 10,000 円 ② 大学・官公庁 5,000 円 ③ 学生 無料

3)申込方法 以下の URL からお申込みください。

<https://forms.gle/hRtTeyyxXnCiXSRG8>

参加費:銀行振込【三井住友銀行名古屋支店 普通預金口座 5557774 高分子学会東海支部】

※参加登録のキャンセルは、1 月 16 日(金)までに高分子学会東海支部までメールにてご連絡ください。なお、キャンセル期限後のキャンセルは、お受けできませんのでご了承ください。

4)申込締切 1 月 16 日(金)

5)振込期限 1 月 16 日(金)

6)お問合せ:〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目 35 番 18 号 一光大須ビル

(公財)中部科学技術センター内 高分子学会東海支部 東海シンポジウム係宛

E-mail:Koubunshi☆cstc.or.jp (☆を@にかえてご利用ください), TEL: 052-231-3070 FAX:052-204-1469